



2022年7月14日

各 位

会 社 名 佐鳥電機株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 佐鳥 浩之  
(コード番号:7420 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 諏訪原 浩二  
(TEL:03-3451-1040)

### 役員に対する業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の取締役(監査等委員である取締役および社外取締役を除きます。以下も同様です。)に対し、信託を用いた業績連動型株式報酬制度(以下「本制度」といいます。)を導入することを決議し、本制度の導入に関する議案を2022年8月19日開催予定の第80期定時株主総会(以下「本株主総会」といいます。)に付議することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 本制度の導入について

当社の取締役の報酬は、「基本報酬」および「賞与」により構成されておりましたが、今般、新たに本制度による株式報酬を導入することといたします。

本制度は、取締役の報酬と当社の業績および株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

本制度の導入により、当社の取締役の報酬は、「基本報酬」、「賞与」および本制度による「株式報酬」により構成されることとなります。

本制度の導入は、本株主総会における承認可決を条件といたします。

また、本株主総会において本制度の導入についてご承認いただいた場合、当社と委任契約を締結している執行役員(以下「執行役員」といいます。)並びに当社国内子会社の取締役(社外取締役を除きます。以下も同様です。)および当社国内子会社と委任契約を締結している執行役員(以下「子会社執行役員」といいます。)に対しても、当社取締役に対するものと同様の業績連動型株式報酬制度を導入することを予定しております。この場合、執行役員並びに当社国内子会社の取締役および子会社執行役員も当社取締役と同様に、本制度に係る信託の受益者となります。また、当社は、執行役員並びに当社国内子会社の取締役および子会社執行役員に対して交付するための株式取得資金につきましても併せて信託いたします。

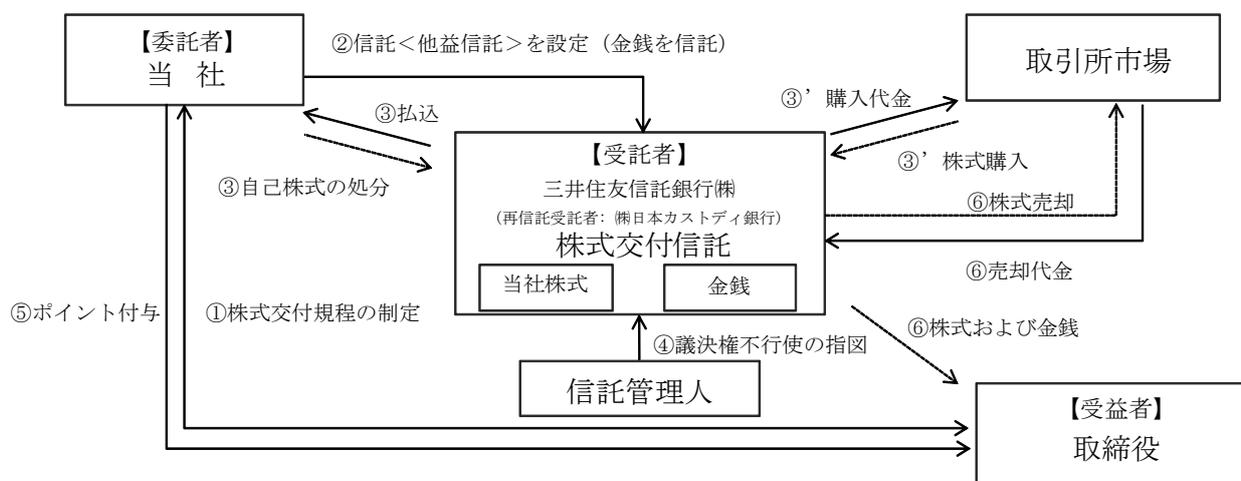
## 2. 本制度の概要

### (1) 本制度の仕組み

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」といいます。)が当社株式を取得し、当社が各取締役が付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役に対して交付される、という株式報酬制度です。

本制度に基づく当社株式の交付は、2023年5月末日で終了する事業年度から2027年5月末日で終了する事業年度までの5事業年度(以下、「対象期間」といいます。)の間に在任する取締役に対して行います。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役、執行役員その他の当社取締役会が定める地位のいずれでもなくなる時です。

#### < 本制度の仕組みの概要 >



- ① 当社は取締役を対象とする株式交付規程を制定します。
- ② 当社は下記⑥のとおり受益権を取得する取締役を受益者とした株式交付信託(他益信託)を設定します(本信託)。その際、当社は受託者に株式取得資金に相当する金額の金銭(ただし、当社の取締役に交付するための株式取得資金については、株主総会の承認を受けた金額の範囲内とします。)を信託します。
- ③ 受託者は今後交付が見込まれる相当数の当社株式を一括して取得します(自己株式の処分による方法や、取引所市場(立会外取引を含みます。)から取得する方法があり得ますが、現時点では、自己株式の処分による方法を検討しております。)
- ④ 信託期間を通じて株式交付規程の対象となる受益者の利益を保護し、受託者の監督をする信託管理人(当社および当社役員から独立している者とします。)を定めます。なお、本信託内の当社株式については、信託管理人は受託者に対して議決権不行使の指図を行い、受託者は、当該指図に基づき、信託期間を通じ議決権を行使しないこととします。
- ⑤ 株式交付規程に基づき、当社は取締役に對しポイントを付与していきます。
- ⑥ 株式交付規程および本信託にかかる信託契約に定める要件を満たした取締役は、本信託の受益者として、付与されたポイントに応じた当社株式の交付を受託者から受けます。なお、あらかじめ株式交付規程・信託契約に定めた一定の事由に該当する場合には、交付すべき当社株式の一部を取引所市場にて売却し、金銭を交付します。

本信託終了時における本信託の残余財産のうち、当社株式については、全て当社が無償で取得したうえで、取締役会決議により消却することを予定しております。

なお、本制度において受託者となる三井住友信託銀行株式会社は、株式会社日本カストディ銀行に信託財産を管理委託(再信託)します。

## (2) 信託の設定

本株主総会で本制度の導入についてご承認が得られることを条件として、当社は、下記(6)に従って交付を行うために必要となることが合理的に見込まれる数の当社株式を本信託が一定期間分先行して取得するために必要となる資金を拠出し、本信託を設定いたします。本信託は、下記(5)のとおり、当社が拠出する資金を原資として、当社株式を取得いたします。

なお、本制度において受託者となる三井住友信託銀行株式会社は、株式会社日本カストディ銀行に信託財産を管理委託(再信託)します。

## (3) 信託期間

信託期間は、2022年11月(予定)から2027年10月(予定)までの約5年間とします。ただし、下記(4)のとおり、信託期間の延長を行うことがあります。

## (4) 本信託に株式取得資金として拠出される信託金の上限額

当社は、対象期間中に、本制度により当社株式を取締役に交付するのに必要な当社株式の取得資金として、合計金500百万円を上限とする金銭を対象期間中に在任する取締役に対する報酬として拠出し、一定の要件を満たす取締役を受益者として本信託を設定します。本信託は、当社が信託した金銭を原資として、当社株式を、当社からの自己株式の処分による方法又は取引所市場(立会外取引を含みます。)から取得する方法により、取得します。(現時点では、自己株式の処分による方法を検討しております。)

注:当社が実際に本信託に信託する金銭は、上記の当社株式の取得資金のほか、信託報酬、信託管理人報酬等の必要費用の見込額を合わせた金額となります。また、上記のとおり執行役員並びに当社国内子会社の取締役および子会社執行役員に対しても本制度と同様の株式報酬制度を導入した場合には、同制度に基づきこれらの者に交付するために必要な当社株式の取得資金もあわせて信託します。

なお、当社の取締役会の決定により、対象期間を6事業年度以内の期間を都度定めて延長するとともに、これに伴い、本信託の信託期間を延長し(当社が設定する本信託と同一の目的の信託に本信託の信託財産を移転することにより実質的に信託期間を延長することを含みます。以下も同様です。)、本制度を継続することがあります。この場合、当社は、当該延長分の対象期間中に、本制度により取締役に交付するために必要な当社株式の追加取得資金として、当該延長分の対象期間の事業年度数に金100百万円を乗じた金額を上限とする金銭を本信託に追加拠出し、下記(6)のポイント付与および当社株式の交付を継続します。

また、上記のように対象期間を延長して本制度を継続しない場合であっても、信託期間の満了時において、既にポイントを付与されているものの未だ取締役、執行役員その他の当社取締役会が定める地位にある者がいる場合には、これらいずれの地位でもなくなり当社株式の交付が完了するまで、本信託の信託期間を延長することがあります。

## (5) 本信託による当社株式の取得方法等

本信託による当初の当社株式の取得は、上記(4)の株式取得資金の上限の範囲内で、当社からの自己株式処分による取得又は取引所市場からの取得を予定しておりますが、取得方法の詳細については、本株主総会決議後に決定し、開示いたします。

なお、信託期間中、取締役の増員等により、本信託内の当社株式の株式数が信託期間中に取締役  
に付与されるポイント数に対応した株式数に不足する可能性が生じた場合には、上記(4)の信託金の  
上限の範囲内で、本信託に追加で金銭を信託し、当社株式を追加取得することがあります。

#### (6) 取締役に交付される当社株式の算定方法および上限

##### ① 取締役に対するポイントの付与方法等

当社は、当社取締役会で定める株式交付規程に基づき、各取締役に対し、信託期間中の株式交付  
規程に定めるポイント付与日において、役位および業績目標の達成度等(※)に応じたポイントを付与し  
ます。

ポイントは当社の中期経営計画の対象とする期間(以下「中期経営計画期間」といいます。)毎に付  
与するものとし、ポイント付与日は原則として各中期経営計画期間の満了直後の当社の定時株主総会  
直後に開催される取締役会開催日とします。

(※)初回の中期経営計画期間については、「中期経営計画 2023」の最終年度である 2023 年度にお  
いて掲げている「売上高」「営業利益」「自己資本利益率(ROE)」の 3 つの指標について当社が定める  
目標を全て達成した場合にポイントを付与することとします。同様に、次回の中期経営計画期間(2024  
年 7 月発表予定の「中期経営計画 2026」)については、その最終年度である 2026 年度において当社  
が設定する指標について当社が定める目標を全て達成した場合にポイントを付与することとします。

一つの中期経営計画期間につき当社が取締役に対して付与するポイントの総数は、当該中期経営  
計画期間に含まれる事業年度数に 50,000 ポイントを乗じた値を上限とします(なお、「中期経営計画  
2023」については初年度である 2021 年度が既に経過していることから、2022 年度から 2023 年度までの  
期間につき付与するものとし、その総数は上記 50,000 ポイントに2を乗じた 100,000 ポイントを上限とし  
ます。)

##### ② 付与されたポイントの数に応じた当社株式の交付

取締役は、上記①で付与されたポイントの数に応じて、下記③の手続に従い、当社株式の交付を受  
けます。ただし、取締役が自己都合により退任する場合等には、それまでに付与されたポイントの全部  
または一部は消滅し、消滅したポイント見合いの当社株式については交付を受けないものとします。

なお、1ポイントは当社株式1株とします。ただし、当社株式について、株式分割・株式併合等、交付  
すべき当社株式数の調整を行うことが合理的であると認められる事象が生じた場合には、かかる分割比  
率・併合比率等に応じて、合理的な調整を行います。

##### ③ 取締役に対する当社株式の交付

各取締役は原則として取締役、執行役員その他の当社取締役会が定める地位のいずれでもなくなる  
時に所定の手続を行い本信託の受益権を取得し、本信託の受益者として、本信託から上記②の当社  
株式の交付を受けます。

ただし、このうち一定の割合の当社株式については、源泉所得税等の納税資金を当社が源泉徴収  
する目的で本信託において売却換金したうえで、当社株式に代わり金銭で交付することがあります。

また、本信託内の当社株式について公開買付けに応募して決済された場合等、本信託内の当社株  
式が換金された場合には、当社株式に代わり金銭で交付することがあります。

#### (7) 議決権行使

本信託内の当社株式に係る議決権は、当社および当社役員から独立した信託管理人の指図に基づ

き、一律に行使しないことといたします。かかる方法によることで、本信託内の当社株式に係る議決権の行使について、当社経営への中立性を確保することを企図しております。

(8) 配当の取扱い

本信託内の当社株式に係る配当は、本信託が受領し、当社株式の取得代金や本信託に係る受託者の信託報酬等に充てられます。

(9) 信託終了時における当社株式および金銭の取扱い

本信託終了時における本信託の残余財産のうち、当社株式については、全て当社が無償で取得したうえで、取締役会決議により消却することを予定しております。

(ご参考) 本信託に係る信託契約の概要

委託者	当社
受託者	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託者:株式会社日本カストディ銀行)
受益者	当社の取締役および当社と委任契約を締結している執行役員並びに当社国内子会社の取締役および当社国内子会社と委任契約を締結している執行役員のうち受益者要件を満たす者
信託管理人	当社および当社役員から独立した第三者を選定する予定
議決権行使	信託の期間を通じて、本信託内の株式に係る議決権は行使いたしません
信託の種類	金銭信託以外の金銭の信託(他益信託)
信託契約日	2022年11月(予定)
信託の期間	2022年11月~2027年10月(予定)
信託の目的	株式交付規程に基づき当社株式を受益者へ交付すること

以上